

# 自主防災組織の活動事例

## 平成30年度知事表彰（消防関係：自主防災組織部門）受賞団体

- 1 ちょうふじ ちれんごうかい  
長府自治連合会（下関市）
- 2 うるし にじちかいじしゅぼうさいそしき  
漆の二自治会自主防災組織（防府市）
- 3 あかさき  
赤崎セーフティネットワーク（山陽小野田市）
- 4 たななかじちかいじしゅぼうさいかい  
田名中自治会自主防災会（平生町）

# 1 長府自治連合会(下関市)

## <組織の概要>

設立年度：平成17年度

組織人員数：約14,300人

## <組織設立の経緯>

昭和22年の長府大火により700戸以上の住家を焼失し、また、平成11年の台風18号では高潮により多くの被害を経験。そのため、住民の防災意識は非常に高く、

「自分たちの地域は自分たちで守る」という自助・共助の意識から自主防災組織を設立。

## <主な活動内容>

- 婦人防火クラブ等と連携し、防災資機材を活用した救助・救出訓練を実施するほか、誰でも気軽に参加しやすい防災クイズ大会を開催している。
- 平成20年度に自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、救助資器材や救急資器材などの防災資器材を整備し、災害に備えている。



# 2 漆の二自治会自主防災組織(防府市)

## <組織の概要>

設立年度：平成21年度

組織人員数：約20人

## <組織設立の経緯>

平成5年8月2日の土砂災害により本地区の西側に位置する自治会が被災したことで、地域防災に対する住民意識が芽生えた。その後地域における高齢化の加速や自然災害

の増加を踏まえ、地域の弱点や危険箇所の洗い出し等を行い、地域住民の同意の下、自主防災組織を設立。

## <主な活動内容>

- 防災訓練では、近くの幼稚園の体育館を使用し、班ごとの避難所スペースの確保や避難者名簿等の作成を行うなど実践的な避難所運営訓練を実施するとともに、要配慮者を中心とした安否確認や避難誘導など要配慮者支援対策にも取り組んでいる。
- 防災情報を入手するため、本地区の全世帯へ防災ラジオを配布し、早期避難の重要性を呼びかけている。



### 3 赤崎セーフティーネットワーク(山陽小野田市)

#### <組織の概要>

設立年度：平成21年度

組織人員数：約4,800人

#### <組織設立の経緯>

山陽小野田市赤崎地区(赤崎小学校区)住民の安心安全のため、赤崎地区の防災・減災活動及び防犯活動を実施するとともに、地域住民への啓発と意識高揚を図り、助け合い支え合いの地域の絆を形成するために設立



#### <主な活動内容>

- 地域の防災士が中心となり避難訓練や炊き出し訓練、救急救命訓練や応急グッズ体験など実践的な訓練を実施している。
- 自治会単位の自主防災組織に対し、防災講座や訓練へのアドバイスをを行っている。
- 赤崎地区にある小学校・中学校との連携が深く、防災訓練の指導や参加に積極的に取り組んでいる。平成29年度には特別支援学級の児童・生徒が避難所に一泊する訓練を支援。

### 4 田名中自治会自主防災会(平生町)

#### <組織の概要>

設立年度：平成17年度

組織人員数：約90人(地区住民)

#### <組織設立の経緯>

本会は、住民同士の共助に基づく自主的な防災活動を行うことにより、風水害、地震、その他の災害による被害の防止及び軽減を図ることを目的に平成17年に設立。



#### <主な活動内容>

- 津波防災をテーマとした避難訓練に加え、救急救命訓練や要配慮者救助訓練、防災講話などを実施している。
- 自治会内で要支援者情報の共有や要支援者宅に担架を配備するなど逃げ遅れ防止の対策にも取り組んでいる。